

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

さいたま市

（地域における現状・課題）

- 中学校・中等教育学校数：59校 ・運動部活動数：842部活 ● 活動時間：平日・2時間程度 休日・3時間程度
- 外部指導者数：部活動指導員 64名 部活動サポーター 256名
- R3年度に市独自で実施したアンケート調査によると、部活動指導を担う教員の7割が、部活動顧問として負担感を感じており主な理由として「校務と部活動の両立」を挙げている。
- 生徒数が地域によって片寄りがあり、生徒数の減少により合同部活動の実施や、部の減少が起きている中学校が存在し始めている。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：さいたま市／さいたま市教育委員会 他

活動場所：各実施校中学校

指導者：地域指導者、顧問

移動手段：徒歩、自転車、公共交通機関

責任主体：さいたま市／さいたま市教育委員会

活動種目：野球、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、陸上、剣道

会費等：なし

保険：スポーツ安全保険に指導者、生徒ともに加入

（実践研究の成果）

- ① コーチングスキル向上研修の導入と指導法の検証
 - 地域運動部活動推進事業に関わる指導者全員に加え、該当校顧問に同様の研修を行った。さらに、部活動指導員全員に対してもコーチング研修を実施し、さいたま市全体としてコーチングスキルの向上を目指して取り組んでいる。
- ② 顧問、指導者との連絡体制の構築
 - 民間のシステムを利用し、指導者間の情報連携や、指導体制の修正などを行うことにより、課題に対しての指導法の修正や、問題の早期発見による未然解決のためのアプローチがすることができた。

（運営体制図）

